

令和7年10月31日

環境局環境政策課

〃資源循環推進課

**新潟県環境賞、エコ事業所、優良リサイクル事業所、
環境保全ポスターコンクールの受賞者が決定しました**

県では毎年、環境に関する取組等が特に顕著である個人・団体、事業所を表彰しています。このたび、下記のとおり、各表彰の受賞者が決定しましたのでお知らせします。

記

1 受賞者

(1) 新潟県環境賞及び第30回記念特別賞（別紙1）

【大賞】環境教育・学習部門（1者）、カーボンゼロ部門（1者）、
地域創り部門（1者）、環境保全部門（2者）、エコの芽部門（1者）、
第30回記念特別賞（2者）

(2) 新潟県エコ事業所（別紙2）

6事業所

(3) 新潟県優良リサイクル事業所（別紙3）

2事業所

(4) 新潟県環境保全ポスターコンクール 最優秀賞（別紙4）

小学校低学年の部（1者）、小学校高学年の部（1者）、中学校の部（1者）

2 表彰式

表彰式は、新潟県が主催する「にいがた環境フェスティバル2025」の中で行います。

(1) 日時 令和7年11月9日（日）午前11時から午後0時30分まで

(2) 場所 JR新潟駅 CoCoLo新潟 1階 吹き抜け広場「ガタリウム」

(3) 表彰 1(1)～(4)の各賞に加え、環境保全功労者等環境大臣表彰伝達表彰（別紙5）、愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会 金賞・銀賞（別紙6）の表彰を併せて行います。

(4) 取材 表彰式終了後に取材に対応します。（申込不要）

にいがた環境フェスティバル2025
ホームページ

【お問い合わせ先】

○表彰式、エコ事業所について

環境政策課カーボンゼロ推進室 秋山、児玉
電話：025-280-5642（内線2735）

○環境賞、環境保全ポスターコンクールについて

環境政策課環境政策係 高橋、山田
電話：025-280-5149（内線2692）

○優良リサイクル事業所について

資源循環推進課資源循環企画係 長澤、湯浅
電話：025-280-5160（内線2503）

令和 7 年度新潟県環境賞及び第 30 回記念特別賞の受賞団体

新潟県環境会議では、県民参加で環境保全に取り組む社会づくりに向けて、環境保全活動への意欲を高め、当該活動の普及促進を図ることを目的に、地域の優れた環境保全活動に対し表彰しており、30 回目となる本年度は 6 団体を表彰

また、新潟県環境賞が第 30 回を迎えたことを記念し、これまでの歴史を振り返り、特に優れた取組や活動を行っている個人・団体のうち 2 団体を「新潟県環境賞第 30 回記念特別賞」として表彰

受賞者名、活動の概要については、以下のとおり

1 新潟県環境賞

部門	受賞者名、活動の概要
【大賞】 環境教育・学習部門	佐渡市立赤泊小学校（佐渡市）
	竹と自然災害とのかかわりを知り、竹を「環境資源」としてとらえ、竹チップの活用を学び食材・器としての利用に取り組んだ。地元である赤泊や佐渡に必要なことを考え、竹の困りごとを少しでも解決できるように行動し、そこから学んだ事や経験を地域のみなさんに伝え、広める活動を行っている。
カーボンゼロ部門	一菱金属株式会社（燕市）
	大量生産の新たに作られた緩衝材ではなく、エネルギーを使って再生する必要もない新聞の印刷時に発生する白紙新聞紙をそのまま緩衝材で使い、資源・エネルギー・リサイクルの最適解なスキームを作り、商品発送時の緩衝材を地域内で循環させる取組を行っている。
地域創り部門	新潟青陵高等学校 水産部（新潟市中央区）
	廃棄されてしまう未利用魚の「エソ」に新しい価値を見出し、廃棄せず水餃子などの餡として活用し、未利用魚となっている現状を変える取組を地元企業や漁協と連携して行っている。
環境保全部門	“清流”荒川を考える流域ワークショップ（村上市）
	荒川河川敷のゴミ拾いを 20 年続けているほか、荒川の魅力発見や荒川を楽しむ活動を流域全体で実践するプランづくりや荒川を地域づくりに活用するための流域住民ネットワークを創出する活動を行っている。
環境保全部門	妻有木育推進協議会（十日町市）
	地域の森林を活かし、木の温もりを伝えることで、地域の活性化に寄与したいとの思いから、子供をはじめとする人々に豊かな体験を提供し、人づくりに取り組んでいくため、森林整備や木製遊具を体験する活動を行っている。
エコの芽部門	社会福祉法人すみれ会認定こども園 あやめ保育園（阿賀野市）
	園で作るピザを通じて、こどもたちが栽培に挑戦し、具材の野菜を各クラスで育て、海水を汲みにいき濾過、使用する塩も自分達で作る中で、海のごみ問題、地域の在来の生き物などに関心を持つ取組を行っている。

2 新潟県環境賞第 30 回記念特別賞

部門	受賞者名、活動の概要
第 30 回記念特別賞	星 麻衣（魚沼市）
	子どもたちを対象とした環境教室、市民向けの講座などの啓発活動、郊外教育センターでの出前講座などの活動を行うほか、日々の生活においても、自身もエコ活に取り組んでいる。
第 30 回記念特別賞	与板町ほたるを守る会（長岡市）
	ホタルが舞う様子を未来の人々に受け継いで行くためにホタル生息環境の維持と、子供を中心とした与板地域内の人たちへのホタル知識の普及、また地域商店とホタル季節商材の共同開発を行い与板地域外からの集客により町の活性化を図っている。

※新潟県環境賞及び第 30 回記念特別賞の詳細な活動概要及び受賞者コメントについては
以下、県ホームページを参照

→<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kankyoseisaku/1352844036989.html>

令和 7 年度「新潟県エコ事業所表彰」の受賞事業所

新潟県では、地球温暖化対策に積極的に取り組む事業所を「エコ事業所」として登録し、優れた取組を実施した事業所を新潟県環境会議（議長：新潟県知事）が表彰

令和 7 年度は、温室効果ガス排出量を前年度比 1%以上削減するとともに、その取組内容が、ア 創意工夫、イ 持続性、ウ 発展性、エ 波及効果の観点で優れた 6 事業所を表彰事業所に決定

事業所（所在地）	理由
株式会社越後交通鉄工所 本社（長岡市） 長岡工場（長岡市） 新潟営業所（新潟市中央区） （計 3 事業所）	ア：・前年度比で全社 1%削減目標を各部門に展開、四半期毎に活動結果を報告、評価し、様々な取組改善に繋げている。 ・社用車のハイブリッド化。 イ：平成 28 年度～（9 年） ウ：・自社所有の建物である長岡工場に太陽光発電設備を導入。 ・発電量・費用対効果を分析しながら運用、社内発信を強化し社員意識を醸成。
株式会社タカヨシ 本社工場（新潟市江南区）	ア：・ガスの約 40%をカーボンオフセット、電気の約 15%を再エネ由来のプランに切り替えることで、令和 6 年度は前年度比で全体の約 30%を削減。 ・CO2 排出量算出ソフトの活用。 ・部署毎に K P I を設定し取組を実施。 イ：平成 26 年度～（11 年） ウ：・社用車のハイブリッド化、コンプレッサー、CTP を省エネ型に順次更新し、さらなる省エネ化を推進。 ・屋根置き太陽光発電設備の導入による自家消費を検討。
株式会社コーテック 長岡工場（長岡市）	ア：・部署ごとに省エネ担当者と取組内容を決定、毎週(月)のミーティングで成果発表・共有し、モチベーションの維持に繋げている。 ・機械の完全停止日を設定して省エネを実現。 イ：令和 4 年度～（3 年） ウ：・「真空蒸着装置」の電流値を下げて電気の使用量を抑える工夫を行った。この成功事例をもとに他設備への横展開を予定。 エ：・他社と共同開発した、燃焼により排出される CO2 を削減した商品が特に大手企業から高評価を受け、取引先、受注拡大に繋がっている。
上越運送株式会社 上越支店（上越市）	ア：・「環境保全活動目標/行動計画」を自社策定。 ・特に、エコドライブを重点推進し、年 2 回の講習会・表彰、デジタコ活用、アイドリングストップ設備、毎月の環境会議を実施。 ・車両別の燃費・アイドリングデータを日報とデジタコで管理し、燃料使用量をグラフ化して社内指導に活用。 イ：令和 4 年度～（3 年） ウ：・社内の取組体制を整え、課題共有と目標設定を行っている。 ・トップダウンだけでなく、双方向の意見交換ができる組織運用となっている。

令和 7 年度「新潟県優良リサイクル事業所表彰」の受賞事業所

新潟県環境会議では、事業者のリサイクル等を推進するため、事業活動に伴う廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化へと積極的に取り組み、優れた成果をあげた県内事業所を「新潟県優良リサイクル事業所」として表彰。

令和 7 年度は 2 事業所を受賞事業所に決定。

事業所（所在地） ※五十音順	取組概要
株式会社エコ・プロジェクト （新発田市）	・ 生コン製造工場で発生する汚泥（スラッジ）や、現場から戻ってくる余剰分の「戻りコン」等の生コン残さを再利用可能にする処理材を開発・製造。 ・ 生コン残さを資源として有効活用可能にするとともに、処理材自体にもリサイクル原料を取り入れることで、資源の循環利用に加え、製品ライフサイクル全体での CO₂排出削減にも貢献している。
株式会社サニックス資源開発 グループ 新潟工場 （新潟市北区）	・ 県内企業等から排出される廃プラスチックから発電用のフラフ燃料を製造。特に新潟工場では、廃プラスチックの分別を徹底することにより燃料の品質向上を図るとともに、リサイクルされない廃棄物を減少させている。 ・ 廃プラスチック由来発電用燃料の製造を通じて、廃棄物のエネルギー資源への転換に貢献している。

令和 7 年度新潟県環境保全ポスターコンクールの受賞作品

県では、子どもの頃から身近な環境に興味・関心を持ち、これを保全しようとする心を育むとともに、環境を意識した行動のきっかけ作りのため、小学生及び中学生を対象としたポスターコンクールを実施

今年度も多数の応募をいただき、審査の結果、下記のとおり受賞作品を決定

◆最優秀賞作品

上越市立春日小学校

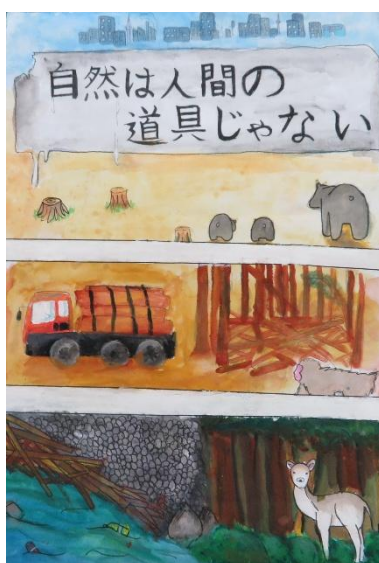
上越市立春日小学校

見附市立西中学校

3 年 おにき こはる 鬼木 小春 さん

6 年 たきざわ りん 滝沢 凜 さん

1 年 おかだ みれい 岡田 美礼 さん



◆各賞の作品数

	最優秀賞	優秀賞	奨励賞	(応募作品数)
小学校低学年の部	1	2	4	2 4
小学校高学年の部	1	2	4	8 3
中学校の部	1	2	7	5 7

◆入賞者の作品展示

11 月 9 日（日）に JR 新潟駅「ガタリウム」で開催予定の「にいがた環境フェスティバル 2025」で入賞作品の展示及び最優秀者の表彰式を行う他、県内 3 か所程度で入賞作品を展示予定（展示場所・期間は決まり次第県 HP で公表）

※令和 7 年度環境保全ポスターコンクールの審査結果についての詳細は以下、県のホームページを参照

→ <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kankyoseisaku/2025kankyoposutashinsakekka.html>



令和 7 年 6 月 19 日
環境局環境政策課

環境大臣表彰「地域環境保全功労者表彰」及び 「地域環境美化功績者表彰」を県内の団体が受賞しました

毎年 6 月の環境月間にあわせて、地域環境保全及び地域環境美化に関し特に顕著な功績があった者（団体を含む。）に対して、その功績をたたえるため、環境大臣による表彰が行われています。本年度は下記のとおり、県内の団体が受賞しました。

記

1 県内の受賞者・功績概要

○地域環境保全功労者表彰

団体名	功績概要
弥彦村立弥彦小学校 (弥彦村)	菊作りの栽培技術を次世代に継承するための普及啓発活動、菊作りを通じた環境教育、地域環境保全につながる活動を実施している。

○地域環境美化功績者表彰

団体名	功績概要
新潟・ラベンダー物語 (新潟市)	長年にわたり、耕作放棄地にラベンダーを植え栽培する緑化活動、「無農薬ラベンダー精油」の製造、市民向け健康講座により、普及啓発活動を実施している。

2 表彰

後日県による伝達表彰を予定しており、詳細が決まり次第お知らせします。

- ◇ 他県の受賞者等の詳細については、環境省のホームページをご確認ください。
https://www.env.go.jp/press/106854_00003.html



本件についてのお問い合わせ先
環境政策係 高橋、山田
電話：025-280-5149（内線 2692）



「令和 8 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会」 の審査結果

標記大会について、愛鳥モデル校等から応募された作品を対象に、審査会を 9 月 9 日に開催し、下記のとおり入賞者を決定したのでお知らせします。

なお、金賞、銀賞、銅賞及び佳作の入賞作品は 9 月 20 日（土）から 10 月 19 日（日）まで、愛鳥センター 2 階ロビーに展示する予定です。

記

令和 8 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会審査結果一覧

賞	小学校の部				中学校の部			
	学校名	学年	氏名	人数	学校名	学年	氏名	人数
金賞	南魚沼市立上田小	2 年	関 朝陽	1 名	見附市立西中	2 年	徳橋 咲希	1 名
銀賞	南魚沼市立上田小	4 年	関 晴真	2 名	上越市立直江津東中	3 年	板垣 夏緒	2 名
	新潟市立紫竹山小	4 年	百瀬 楓架		新潟市立新津第一中	3 年	佐伯 芽唯	
銅賞	胎内市立中条小	5 年	佐藤 紘葉	3 名	五泉市立村松桜中	3 年	轡田 美優	3 名
	胎内市立中条小	3 年	佐藤 惺南		新潟市立大江山中	2 年	舎川 瑠花	
	阿賀野市立水原小	6 年	吉川 恒汰		新潟市立大江山中	2 年	荒井 杏心	
佳作	胎内市立中条小	6 年	富樫 美那	6 名	三条市立第三中	3 年	西野 真優佳	6 名
	新発田市立紫雲寺小	3 年	長谷川 ひなた		加茂市立若宮中	2 年	舩久保 旺来	
	新潟市立浜浦小	4 年	田中 心彩		長岡市立南中	1 年	丸川 百恵	
	新潟市立浜浦小	2 年	村山 実照		長岡市立大島中	3 年	大須賀 琳乃亜	
	新潟市立紫竹山小	2 年	瀬戸川 文乃		柏崎市立鏡が沖中	1 年	郷 紡季	
	新潟市立紫竹山小	1 年	吉田 伊音		新潟市立黒埼中	3 年	高野 優歩	
計	入賞者数 12 名 ／ 出品者数 119 名				入賞者数 12 名 ／ 出品者数 109 名			

※金・銀・銅賞に入賞した作品を、新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里ホームページに掲載しています。

本件についてのお問い合わせ先
愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
担当：土田
電話：0254-41-4500(直通)